

2016年6月の山西省

6月に入り山西大学での留学も残すところあと1か月となりました。

6月になると、気温もあがり、服装も半袖半ズボンの夏仕様になりました。

5月末に HSK という中国語の資格試験を受け、残すところは、6月末の期末試験となりました。では、6月にあった出来事を見ていきたいと思います。

6月2日から5日まで蘭州交通大学で「留動中国」という中国に留学している外国人留学生のイベントに参加してきました。

計三日間で一日目、ダンスなどのパフォーマンス、二日目はバスケットボールの試合、三日目は団体での学校内全体の敷地を使ったリレーの試合という内容でした。北西部におけるイベントで蘭州、山西、陝西、河南、ウイグルなどの地区から20校ほど参加し様々な国の人たちがいました。

ダンスパフォーマンスでの中国伝統の民族ダンスを踊るチーム、三日目のリレーの次の走者とのバトンパスの前に中国語のクイズ、中国の蹴鞠の体験など留学生たちに中国文化に触れてほしいという趣旨でとても楽しみながら中国文化を勉強することができました。

山西大学のチームの一員として私は今回参加してきました。チームメンバーは日本、タイ、ロシア、ウズベキスタン、アルメニア、ウクライナ、あと中国人学生というメンバーでした。今回このイベントを通して、バスケットボールを始め、ヌンチャクも習い始めることができました。視野を広げ、新しいことにチャレンジする機会をいただいた山西大学に感謝したいです。ありがとうございます。

また、さまざまな国籍の人とイベントを催す、参加する機会を通し日本人としての自分の特徴が見えてきました。

良い点

- ・下準備、後片付けの丁寧さ
- ・時間管理、危機管理、チーム管理の徹底さ
- ・みんながやりたくないことを率先してできる。
- ・気配り

悪い点

- ・英語力の低さ

留学先に行くと日本男子留学生は多くの場合、ほかの国の留学生からなめて見られると、中国南部の大学、北部の大学の二か所の留学を通し、客観的に感じました。ですが他の国の人と比べ、なかなか良いところ、強味もあるなあなんてしみじみ感じました。

大久保 豪



学院の旗を持つての一枚



全体集合写真